



Press Information

VPR12-007

2012年1月26日(木)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン「4ドア up!」を発表

新型 up!に4ドアバージョンを追加し5月よりドイツで販売開始

up!搭載のシティエマージェンシーブレーキシステムがユーロ NCAP で Advanced Award 受賞

ウォルフスブルク、2012年1月25日

全てのサインがフォルクスワーゲンの最もコンパクトな up!の輝かしい未来を暗示させます。2ドアバージョンの up!を昨年12月に発売開始しているドイツでは、スモールカーセグメントにおいて既にクラストップの登録台数を記録しました。そして今回4ドアバージョンの追加によって更に飛躍的な販売台数の伸びが期待されます。4ドアバージョンの up!は、ドイツ国内のディーラーへ5月からデリバリーが開始され、初夏までには欧州全域での販売を予定しています。

フォルクスワーゲンは、4ドア up!の追加により、up!の顧客の半数以上が、この4ドアバージョンを選択すると予想しています。4ドア up!にも、2ドア同様に2つのエンジンラインアップ(44kW/60PS、55kW/75PS)と5種類の仕様を用意します。またボディサイズも2ドア up!と同一になります。一方で、4ドア up!ではサイドシルエットが2ドア up!とは異なります。2ドア up!ではサイドウインドーの下のラインがCピラーに向けてせりあがっているのに対し、4ドア up!ではこのラインは水平にCピラーまで到達します。フロントエンドやリアエンドは2ドア up!と同じデザインとなっています。これはつまり、最新のハイテクスマートフォンをイメージさせる1枚の大きなガラスのトランクリッドが、4ドア up!にも与えられることとなります。トランクリッドの内側には2ドア up!と同じ251リットルというトランク容量を確保し、リヤシートを完全に折り畳めば、カーゴスペースは951リットルまで拡大することができます。

後席ドアは大きく開く事によって快適な乗降性が確保され、4座のインテリアスペースは2ドア up!同等の、クルマのサイズからは想像出来ない程良好な広さを得ています。後席のヘッドルームは947mm(前席は993mm)あり、レッグルームも快適といえる789mmが与えられました。またいわゆるヒップポイントが後席では378mmと、前席(306mm)より高められたシアター形式を採用し、ドライバーの肩越しに良好な視界が確保されました。また、フロントシート下に十分なレッグルームが用意されている点も後席乗員に嬉しいポイントです。

小さな up!にもフォルクスワーゲンは最新の安全装備、シティエマージェンシーブレーキ機能をオプションで用意しました。時速5km/hから30km/hで走行中に、前走車や障害物に対して衝突の可能性を検知し、自動ブレーキが作動するこのシステムは、このクラス初の装備です。小さなボディを持つ up!は、既にユーロ NCAP より、衝突安全性能において最高の5つ星を獲得していますが、今回このシティエマージェンシーブレーキシステムが、ユーロ NCAP より、2012 Advanced Award を授与されました。up!に搭載されるシティエマージェンシーブレーキシステムは、フロントガラス上部に内蔵されたレーザーセンサーによって、車両の前方およそ10mをスキャンして、衝突の可能性を検知し自動ブレーキを作動させるシステムです。

-
- フォルクスワーゲン グループ ジャパン 広報部
製品広報 池畑 tel. 03-5792-8155、相澤 tel. 03-5792-8154
プレス専用サイト: <http://www.volkswagen-press.jp>
 - お客様お問い合わせ先 フォルクスワーゲン カスタマーセンター tel. 0120-993-199